

# はばたき

2012 秋号 第27号[通巻第138号]  
平成24年10月発行[季刊]

編集・発行／佐世保中央病院 佐世保市大和町15番地(広報委員会)  
TEL 0956-33-7151 FAX 0956-33-8557 E-mail sch@hakujujikai.or.jp  
社会医療法人財団 白十字会ホームページ <http://www.hakujujikai.or.jp>

はばたき第27号 ● もくじ

- ① リウマチ・膠原病センターでの取り組み VOL.3
- ② 第4回病院子ども探検隊
- ③ 脳(NO)卒中NOリターン
- ④ 「あじさいネット」稼働について
- ⑤ 最新!! 医療機器“DT-Navi”
- ⑥ 新任Dr.の紹介
- ⑥ “We are up for self-care” Awardを受賞いたしました。
- ⑦ 患者様の声～ご意見箱より～
- ⑧ 合同慰霊祭
- ⑧ 健康レシピ紹介
- ⑨ 外来診療担当表



## 基本理念

患者様が一日も早く社会に復帰されることを願います。

## 基本方針

1. 患者様の権利を尊重し、患者様中心の快適な療養環境を提供いたします。
1. 地域医療機関との連携に努め、市民のニーズに合った診療活動を展開することにより、社会に貢献できる病院を作ります。
1. 職員の総和をもって納得の医療を推進し、患者様から安心され信頼され、愛される病院を作ります。
1. 最新の医学情報と医療設備を導入し、日進月歩の医学に正面から取り組みます。
1. 病院人として社会人として、信頼される人格をもった責任ある人間を育成いたします。
1. すべての職員にとって、かけがえのない価値ある職場であるよう努力いたします。

## 患者様の権利と義務

1. いかなる差別もなく公平な医療を受けることができる。(受療権)
2. 自身の症状・診断・予後・治療などについて、納得できる説明を受けることができる。(知る権利)
3. 医療者の提案する診療計画など自らの意思で決定することができる。(自己決定権)
4. 個人情報やプライバシーを保護される権利がある。(プライバシー保護権)
5. 他施設の医師に相談することができる。(セカンドオピニオン権)
6. 医療者に対し、自身の健康・病状に関する情報を正確に伝える義務がある。(情報提供義務)
7. 病院業務に支障をきたさないよう協力する義務がある。(診療協力義務)

## 第4回子ども探検隊

(関連記事は3ページ)



# リウマチ・膠原病センターでの取り組み VOL.3

佐世保中央病院 院長 リウマチセンター長 植木 幸孝

## リウマチ・膠原病センターでの取り組み(リウマチ地域連携) その2

佐世保中央病院は2002年にリウマチ・膠原病センターを立ち上げました。交通アクセスが悪い佐世保・県北部のリウマチ医療の基幹となる施設を目指して開設しました。しかし、やはり地域に専門医が少ないこともあって、症状が改善した患者さんが、ドロップアウトしてしまう事が減ることはありませんでした。当院には佐世保市内はもちろん、20kmほど離れた松浦市や平戸市、上五島などからも患者さんが集まっています。しかし、専門医が在籍する施設はわずか14施設。うち13が佐世保市内に集中しています(2012.4月現在)。この問題に関心を抱いてくれたのが、当院のOGであり、現在県北の中核病院などで勤務している看護師たちでした。彼女たちが連絡を取り合い、自院の総合内科医などに呼びかけながらネットワーク化を進めてくれました。それが現在の佐世保・

県北地域でのリウマチ連携の基盤となっています。ネットワークに参加した非専門医に対し、リウマチの勉強会を定期的に行い、疾患に関する基本知識や連携のあり方、生物学的製剤についても知識普及に努めています。2010年にリウマチの診断基準の見直しが示され、治療目標達成を重視したリウマチ医療が実現ができるようになったことで、リウマチ地域連携の流れも加速してきています。現在、佐世保中央病院を中心とした同圏域でのRA連携は、「遠隔地との病病連携」と「佐世保市内での病診連携」という二つの枠組みで進めています(表1)。情報共有のツールとしては、患者携帯型の「リウマチ管理ノート」(図1)を作成しているほか、当院では2004年に地域医療連携ネットワーク「メディカル・ネット99」を稼働させ、かかりつけ医が当院の電子カルテを閲覧できる仕組みを整備しています。連携を考える時に重視すべきは、第一に患者さんのメリット、次にかかりつけ医の負担軽減、その上での基幹病院の医療の質の向上だと思えます。当院の入り口には連携する医療機関のパンフレットを並べています。各医療機関で対応可能なリウマチ治療も明記されており、患者さんへの情報提供とともに、地域医療連携センターにおいても逆紹介の際に活用しています。

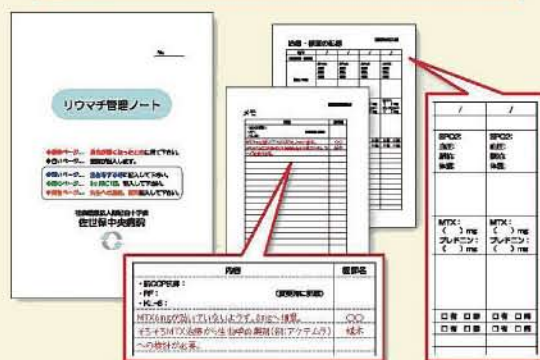
佐世保中央病院リウマチ・膠原病センターは今後も、地域全体が1つの医療機関という意識で患者さま中心のリウマチ医療を行っていきます。

佐世保県北医療圏での遠隔リウマチ連携

遠隔地との病病連携	佐世保市内での病診連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 同院まで通院に1時間以上要する患者は基本的に居住地域近隣の中核病院との病病連携で対応する</li> <li>● すべての紹介患者に、同院紹介の初診時に逆紹介を説明し、同意を得る(強要しない)</li> <li>● 診断・治療方針を共有</li> <li>● 治療は必ず紹介病院で行う</li> <li>● 3-6カ月ごとに同院を受診</li> <li>● 生物学的製剤についても原則的にかかりつけ医で実施</li> <li>● スタッフ間の交流を推進(ミニ勉強会、ナースセミナーなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市内の診療所にもリウマチ専門医は少ないため、頻りに勉強会を開催することを前提とする</li> <li>● すべての紹介患者に、同院紹介の初診時に病診連携で診断・治療方針の共有を行うことを説明</li> <li>● 逆紹介、紹介で連携する</li> <li>● 治療は必ずかかりつけ医で行う</li> <li>● 生物学的製剤使用も原則的にかかりつけ医で実施する</li> <li>● スタッフ間の交流(同)</li> </ul>

(表1)

リウマチ管理ノート



(図1)

## 病院子ども探検隊



8/7(火)に第4回病院子ども探検隊を開催いたしました。当日は佐世保市を中心に遠くは福岡県から小学4～6年生の子供たち27名が参加してくれました。

今回も手術室やリハビリテーションなど6つの部署を見学し、各部署で様々な体験をしました。

中でも子供たちに一番人気なのが手術室での「内視鏡手術および電気メス体験」。

医師の指導を受けながら、内視鏡手術のトレーニングキットを用いて行いますが、「うまいね」とプロも感心するほどの上達ぶり。若いわって素晴らしい!!

他にも生魚のさんまにエコーを当てて、超音波の仕組みを学習するなど、どの体験でも子供たちの目がキラキラ輝いているのが印象的でした。今回の体験によって、いつの日か「患者さんのために働きたい!!」と医療の道を志してくれたら、嬉しいですね。



## 探検の内容は以下の通りです。

- ① 手洗いの講義と実践: 講義の後に、グリッターバグ(手洗い残しがないか確認する機械)でチェック。手洗いNo.1は誰かな?
- ② 内視鏡手術・電気メス体験: こども用の術衣を着て、行います。本格的!!
- ③ リハビリテーション体験: 片麻痺患者さんの体験や電動車いす、トロミジュースの試飲、認知症予防のタッチパネルを体験しました。
- ④ 超音波検査(エコー)体験: 実際に超音波検査(エコー)を当てて、体の仕組みを学びました。
- ⑤ 臨床検査技術部: 血液の細胞を顕微鏡で見ました。血液型についても勉強しました。
- ⑥ 放射線技術部: キティちゃんのぬいぐるみレントゲン写真を見ました。CT室では3D処理されたCTの画像にビックリ!!
- ⑦ 薬剤部: 薬の量を正確に測ったり、軟膏を作ったりしました。



毎年参加者を公募しております。対象は小学4～6年生の児童および保護者です。6月ごろに募集のお知らせ、8月の開催を計画していますので、病院ホームページおよびfacebookページをご確認ください。

# 脳(NO)卒中NOリターン

## 【脳卒中の現状と患者動向】

- 脳卒中の患者数は現在約150万人といわれ、毎年25万人以上が新たに発症していると推測。
- 脳卒中は、がん、心臓病に次いで死因の第3位となっています。
- 「寝たきりになる原因の第1位」の3割近くが脳卒中などの脳血管疾患です。
- 全医療費の1割近くが脳卒中診療に費やされています。
- 高齢者の激増や、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病の増加により、脳卒中の患者は2020年には300万人を超すことが予想されています。

## 脳卒中とは？ どんな病気？

卒中とは[卒然として邪風に中る]:(そつぜんとしてじゃふうにあたる)つまり、「突然、悪い風にあたって倒れる」という意味です。

- ・突然、脳に障害が起こる病気
- ・命に関わることもある
- ・麻痺などを残すこともある
- ・日本人は欧米人の2-3倍多い

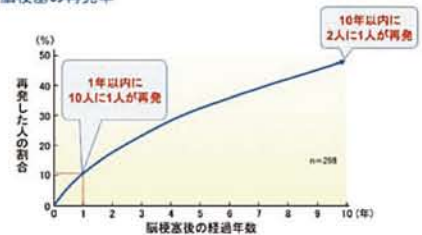
脳卒中は再発しやすい病気です。1年間で、20人に1人の患者さんが脳卒中を再発するといわれ10年間で約半数の患者さんが再発したというデータもあります。(福岡県久山町の疫学研究のデータ)

脳卒中というところのように恐い病気のイメージが強いと思いますが、その原因として、生活習慣病が重要視されています。

高血圧、高コレステロール血症、糖尿病などの“生活習慣病”が危険因子として重要です。したがって、生活習慣病の管理などが大切です。

**危険因子を減らし、日常生活に注意をすることによって発病・再発を防ぐことができます。**

●脳梗塞の再発率



■当院では、平成24年6月より医師と協力し**脳卒中看護外来**を設立しました。相談は**無料**です。お気軽にお申し込みください。

脳卒中看護外来で、どんな相談や説明が受けられるの？

### 1) 脳卒中の病気について

- ・脳梗塞とは
- ・急性、慢性硬膜下血腫とは
- ・脳出血とは
- ・脳腫瘍とは
- ・くも膜下出血とは

### 2) 脳卒中の症状について



### 3) 生活習慣病について

(脳卒中再発予防10ヶ条)脳卒中協会

- ① 手始めに **高血圧**から 治しましょう
  - ② **糖尿病** 放っておいたら 悔い残る
  - ③ **不整脈** 見つかれば すぐ受診
  - ④ 予防には **タバコ**を止める 意志を持って
  - ⑤ **アルコール** 控えめは薬 過ぎれば毒
  - ⑥ 高すぎる **コレステロール**も 見逃すな
  - ⑦ お食事の **塩分・脂肪** 控えめに
  - ⑧ 体力に合った **運動** 続けよう
  - ⑨ 万病の 引き金になる 太りすぎ (**肥満**)
  - ⑩ **脳卒中** 起きたらすぐに 病院へ
- 番外 **お薬**は 勝手にやめずに 相談を！



- 毎月 第2・4金曜日14時～16時
- 脳卒中看護外来(予約制)
- 申し込場所:総合相談窓口・脳神経外科窓口
- 『脳卒中相談の申し込み』と伝えてください。

**まずは病院代表:0956-33-7151にお電話下さい。**

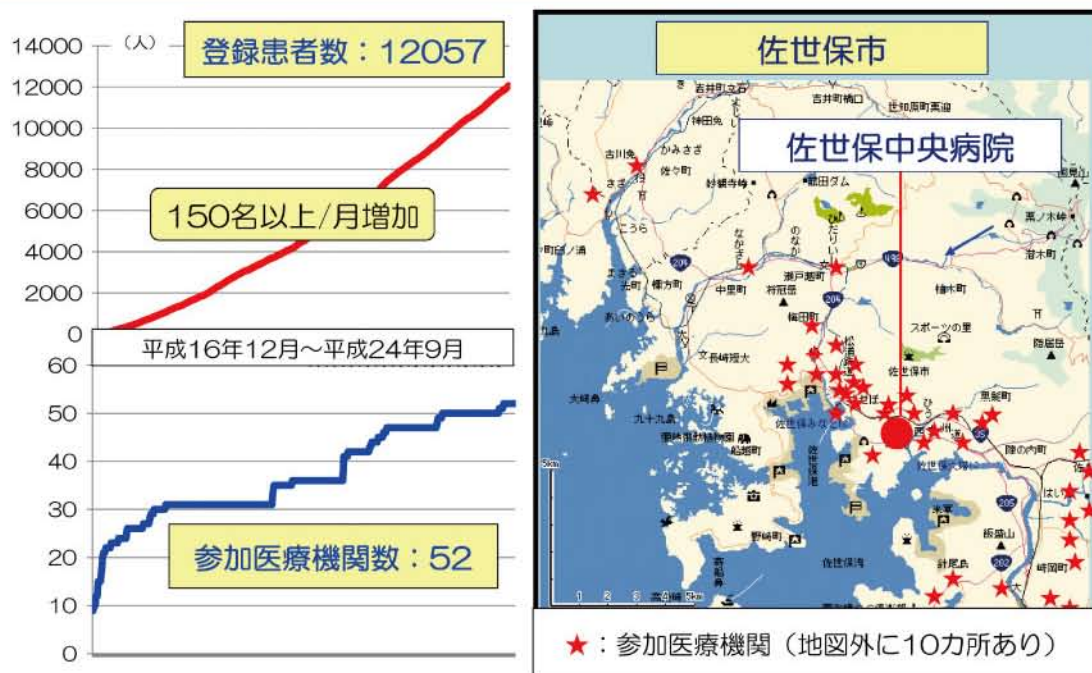
佐世保中央病院 脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師 山口 淳也

# 「あじさいネット」稼働について 副院長兼地域連携センター長 平尾 幸一

「あじさいネット」は、病院の電子カルテに保管されています患者様の医療情報を、インターネットを介して開業医や調剤薬局、訪問看護ステーションなどへ、患者様の同意のもとに開示することにより、患者様への医療連携、介護連携を高めることを目的とした、地域医療連携ネットワークであり、この7月から当院と佐世保市立総合病院で運用を開始し、現在、佐世保市の6つの医療機関が参加されています。

## メディカル・ネット99の現状

(平成24年9月25日の時点)



平成21年度、地域医療再生計画(脚注)を各都道府県で作成し、補正予算を用いて実施することが厚生労働省より求められ、長崎県では計画の一つに「あじさいネット」を県全体に網羅することを企画し、NPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会が運営することになりました。佐世保地区でも、大村地区、長崎地区に続いて「あじさいネット」を稼働することになり、今後、佐世保共済病院、長崎労災病院も情報を提供する予定です。

当院におきましては、平成16年12月より運用しています「メディカル・ネット99」も「あじさいネット」と同様の地域医療連携ネットワークであり、現在、佐世保市のみでなく、平戸市、松浦市、西海市、東彼杵郡のほか、伊万里市など佐賀県西部にあります52の医療機関が加入し、延べ1万2千人以上の患者様の同意のもと、その医療情報を開示し、患者様に対する医療が円滑に継続されるように運営して参りました。「メディカル・ネット99」には、「あじさいネット」にない機能を有しており、CT、MRIの検査予約が可能で、さらに、当院で使用している医療安全、感染制御などに関する各種のマニュアルを、地域の医療機関へ開示しており、好評を博しております。

このような背景のもと、当院におきましては「あじさいネット」のみでなく、これまで通り「メディカル・ネット99」を運営し、地域におきまして患者様への医療が確実に継続されますように努力して参ります。

(注) 地域医療再生計画：「都道府県において、医療圏単位での医療機能の強化、医師等の確保等の取組その他の地域における医療に係る課題を解決するための計画」

認知症疾患医療センターに高次脳機能評価のための新しい機器を導入しました

## 脳の働き(認知機能)を評価する

## タッチパネル式ADAS-J cog.実施支援システム“DT-Navi”

リハビリテーション部 作業療法課 嶋田 史子



佐世保中央病院には認知症の専門診療を行う認知症疾患医療センター、通称“メモリークリニック”があります。開設して2年8ヶ月が経ちますが、受診者は後を絶ちません。2011年には認知症の新しい薬も発売となり、認知症医療は日進月歩の取り組みが行われています。

今回ご紹介する“DT-Navi(ディティナビ)”は、認知症の薬の効果を判定するために以前から用いられてきたADAS-cog(エイダズ: Alzheimer's Disease Assessment Scale)という脳の働きを見る検査をタッチパネル式に機器化したものです。アルツハイマー型認知症における脳の働きの変化を経時的に評価するための検査で、主に記憶・言葉・行為(段取りや手順を踏んで物事を正確に行う能力)を見ます。薬の効果をみる検査として治療研究の際にも国際的に広く使用され、高い信頼性と妥当性が報告されています。

メモリークリニックでは、2012年6月に“DT-Navi(ディティナビ)”を設置しました。この機器検査から分かることは、検査を受けた方の①いまの脳の働きの状態を見ることができる、②経過を追うことで薬による治療効果を予測できる、③これからの状態をグラフ化して分かりやすく見ることができる、ことなどです。当クリニックでも新しい薬を飲み始めてから脳の働きがどのような状態に変化し、どのような経過をたどっているか見るためにこの機器を使用し始めています。これから検査件数を増やし、検査を受けられる方やご家族へ分かりやすく状況を伝えることができる方法の一つになるよう努めていきたいと思えます。

認知症という病気になったとしても、メモリークリニックを受診することで適切な治療を受け、ご本人・ご家族ともに安心できる生活を送って頂くための支援ができるよう、これからも日々努力して参ります。

もの忘れや認知症に関するご相談がありましたら、佐世保中央病院メモリークリニックへお気軽にご連絡ください。

もの忘れや認知症に関するご相談がありましたら、佐世保中央病院メモリークリニックへお気軽にご連絡ください。





# 新任Dr.の紹介

①診療科 ②出身大学 ③卒業年 ④出身医局 ⑤認定医、専門医などの種類(学会名)

⑥医師を志したきっかけを教えてください。また、この科を選んだのはなぜですか？ ⑦趣味、または特技を教えてください。⑧自己PRをお願いします。⑨最後に患者様へ何か一言お願い致します。



おおいし たかゆき  
大石 敬之 Dr.

- ① 消化器内視鏡科(常勤)
- ② 愛知医科大学
- ③ 平成21年卒
- ④ 長崎大学 消化器内科
- ⑤ 日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会

⑥①医師である父の働く姿を見て、医師になる道を志しました。  
 ②消化器内科は多様な臓器・疾患を診ることができるところに魅力を感じました。また、癌を診れる医師になりたかったのも理由の一つです。 ⑦読書・スポーツ全般(大学時代はアイスホッケー部に所属) ⑧笑顔と元気をモットーに丁寧な診療を心がけたいと思っています。 ⑨地元である佐世保の医療に少しでも貢献できるよう精一杯がんばりたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

はら みのる  
原 稔 Dr.

- ① 耳鼻咽喉科(非常勤)
- ② 長崎大学
- ③ 平成14年卒
- ④ 長崎大学 耳鼻科
- ⑤ 日本耳鼻咽喉科学会専門医

⑥①医学は科学として未知の領域が広いと思ったから。②手先を動かすことが好きなので耳鼻科を選びました。 ⑦トライアスロン ⑧耳鼻科という仕事が大好きです。 ⑨耳鼻科は一般的に分かりにくい領域なので、できるだけ分かりやすい説明を心がけていきます。



## 当院の職員が“We are up for self-care” Awardを受賞いたしました。

### 受賞者のコメント

健康管理部 今里 孝宏



このたび、“We are up for self-care” Awardの受賞を賜り、誠に光栄に存じます。

“We are up for self-care” Awardは、糖尿病治療研究会(代表幹事:タニタ体重科学研究所所長 池田義雄先生)が、糖尿病ケアに携わる医療スタッフのさらなる知識・技術の向上を図ることを目的とし、医療スタッフの糖尿病患者のセルフケアを支援する活動業績を評価するものとして、2000年に創設されました。

現在、私は糖尿病診療の現場から離れ、予防医学へ業務をシフトしていますが、臨床検査技術部時代の学術実績や取り組み、また日常業務外になりますが、これまでの経験やネットワークを活かした地域での予防活動や教育活動が評価されての受賞となりました。特に、7年前に自らの提案で立ち上げた九州糖尿病臨床検査研究会の取り組みを高くご評価いただきました。

九州糖尿病臨床検査研究会では、糖尿病療養指導士の情報交換の場として、九州DM検査セミナーを例年開催しており、糖尿病の検査をテーマとした様々な内容で企画を行っています。また、各県の世話人による九州圏内のネットワークを活かし、様々な問題についての現状調査を実施し、関連学会での発表、論文投稿を行っています。今後も、ライフワークとして、地域の糖尿病診療の発展に微力ながら貢献できればと思っています。日頃よりご指導・ご支援をいただいています。当院、松本糖尿病センター長、井元副センター長をはじめ、関係部門の方々にこの場をかりて深謝申し上げます。

## 患者様の声～ご意見箱より～

貴重なご意見  
ありがとうございます



### 「外来待ち時間発生時の患者様へのご説明」に係るご指摘について

「診療予約時間より1時間30分も待ち、看護師に説明を求めたが皆さん同じように待っている状況であるという説明しかなく、なおかつ診療が遅れることの報告なども特になかった。予約の意味がない上に、待ち時間が発生した患者に対しての看護師の対応が悪く説明がない。」というご意見をいただき、お詫びを申し上げます。

当院は全診療科におきまして、外来時間帯予約制を導入しておりますが、診療の状況によっては待ち時間が発生する場合がございます。その際は診察進行状況の掲示および診察が遅れる旨のご説明を行っておりますが、徹底されていない状況ですので指導を強化し、患者様にご迷惑をおかけしないよう努めてまいります。

今回、待ち時間が発生し、職員へお声かけいただいたにもかかわらず、患者様の立場に立った状況説明が出来ず、不快感をあたえてしまいましたこと、重ねてお詫び申し上げます。今後は看護師ばかりでなく、他の外来スタッフも含め連携を取り合い、患者様の立場にたった的確なご説明、ご案内ができますよう改善を図ってまいります。

院長 植木 幸孝

### 「採血コーナーでの採血時の痛み」に係るご指摘について

採血時の痛みに関しての御意見を頂き有難うございました。

当院採血コーナーでは、正確な検査データを報告するために、実際に検査を実施する臨床検査技師が採血を担当しております。最近では全国の多くの病院で臨床検査技師が採血を行っている状況です。採血業務を担当する際には十分なトレーニングを行った後、患者様の採血を担当するようになっておりますが、患者様の血管の状態、神経の走行などにより再採血が必要な場合や痛みを伴う場合がございます。

担当検査技師はそのような事態を回避するために日々、採血技術の向上に努めておりますが、今回採血の際に強い痛みが伴ったとのこと、誠に申し訳ございませんでした。

今後さらに、患者様に安心して採血を受けて頂けるよう、採血技術の向上に努めてまいります。今後もお気付きの点が御座いましたら、お知らせ頂きますようお願い致します。

臨床検査技術部部長 丸田 秀夫

### 「病院内に喫煙所を設けて欲しい」とのご意見について

「病院内に愛煙家のために喫煙所を設けて欲しい」とのご意見について、ご回答申し上げます。

ご周知のとおり、平成14年に施行されました健康増進法において、医療機関等における喫煙については、「受動喫煙を防止するために必要な措置を講じること」と規定されております。

当院におきましても患者様の健康管理を担う責務のある医療機関として、平成21年9月1日(火)より、立体駐車場を含む病院の敷地内全てを禁煙とさせていただいております。

またその後も、平成23年1月に県よりがん診療連携推進病院としての指定を受け、現在は県北地区でのがん対策に積極的に取り組んでいかなければならない立場にもあるため、ご要望にはお応え致しかねるところでございます。

愛煙家の皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

院長 植木 幸孝



## 合同慰霊祭

9月8日(土)、アルカスSASEBOにおいて、平成24年度社会医療法人財団白十字会グループ合同慰霊祭(無宗教形式)を執り行いました。平成23年6月から平成24年5月までの間、当法人グループの施設でお亡くなりになられた540名の方々のご遺族の皆様へご案内しましたところ、100名を超えるご遺族の方々にご参列いただきました。

慰霊祭では、主催者を代表して佐世保中央病院植木院長が追悼のことばを述べ、参加者全員による献花を行いました。また、佐世保市民管弦楽団による献奏、カトリック早岐協会の本田神父様によるご講話があり、ご遺族の皆様は、時折涙ぐみながら聞き入っていらっしゃいました。

ご参列いただきいたご遺族の皆様、医療の発展のため検体にご協力いただいたご遺族の皆様に深く感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



財務課 濱田 太一

## 健康レシピ紹介

### 鮭のチャンチャン炒め

鮭には私たちの健康に役立つ成分が多く含まれています。

鮭の脂質に含まれるEPAやDHAという脂肪酸には血液をサラサラにする働きがあり、更に血管の若返りにも役立つものです。特に9月から11月に獲れる「秋味」と呼ばれる鮭は脂肪量が少なめなのにも関わらずEPAやDHAが濃縮されています。

また、鮭の色素であるアスタキサンチンは万病のもととして知られている活性酸素を消去し、動脈硬化のもとになる悪玉コレステロールをできにくくする働きがあります。

北海道の郷土料理、チャンチャン焼きを手軽な炒め物にアレンジしたこのレシピは鮭とたっぷりの野菜が食べられるバランスの良い一品です。



#### 【材料】2人分

鮭…2切れ(200g)  
塩…小さじ1/4  
酒…大さじ1  
キャベツ…3枚(150g)  
ピーマン…1個(25g)  
パプリカ…1/3個(25g)  
サラダ油…大さじ1

A みそ…大さじ1・1/2  
しょうゆ…小さじ1  
生姜汁…小さじ1  
酒…大さじ1  
片栗粉…小さじ1/2

#### 作り方

- ①鮭は一切れを4つに切り、塩と酒を振る。キャベツは芯をそぎ落として4cm角に切り、ピーマン・パプリカは千切りにする。Aはよく混ぜ合わせておく。
- ②フライパンを中火で熱し、油を入れる。鮭を並べ入れて、表裏2分ずつ焼き、いったん取り出す。
- ③キャベツ・ピーマン・パプリカを入れてひと混ぜし、やや強火にしてAをまわしかけ、手早く水分を飛ばすように上下を返しながらかき混ぜる。
- ④③に②を戻し入れ、1分ほど炒める。

栄養管理部  
山下 祐理子

# 外来診療担当表

全診療科予約制

平成24年 10月1日現在		月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	呼吸器	小林		大島				小林			
	内分泌							安部(非)(再)	大財(非)	藤山(非)	
	骨代謝										藤山(非)
	腎・透析		浪江						浪江(再)	林(非・再)	林(非・再)
	神経内科	竹尾(再)		竹尾(再) 岩本 (長崎大学担当医)		竹尾		吉村(非)		竹尾(再)	
	新患	一瀬		岩永		植木		岩永		岩永	
	再来	植木		岩永	岩本	西野	寺田	西野		寺田	
リウマチ 膠原病 センター	新患	岩永・一瀬	一瀬	岩本		西野				植木	
再来	藤島					尾崎		尾崎		松本	
糖尿病 センター	新患	松本		松本・藤島	尾崎	藤島	松本	松本・藤島		尾崎	
再来	木崎		矢野(非)			中尾(功)		木崎		矢野(非)	
循環器科	新患	赤司		中尾(功)・高橋・矢野(非)		木崎・赤司		中尾(功)		木崎・矢野(非)	
再来	山道		松崎	富永(再)・竹島(非・隔週)		小田	磯本(非・隔週)	小田		大石	
消化器科	(消化管)	草場		木下		松崎		山道		木下・大石	
(肝胆膵)	浪江・林	浪江・林	浪江	浪江	浪江・林	浪江・林	浪江	浪江	浪江	浪江・林	浪江・林
人工透析センター	新患	梶原・重政	※	草場	※	碓	※	武岡	※	佐々木・羽田野	※
外科	再来	碓		菅村		菅村		重政		碓	
特別顧問外来	國崎					國崎					
脳神経外科	阪元	※	※	※	※	阪元	※	※	※	阪元	※
吉野						衛藤				吉野	
心臓血管外科	※	※	柴田	※	※	※	※	柴田	※	※	※
谷口						中路					
皮膚科	山口	※	山口	※	山口	※	山口	※	山口	※	山口
小児科	山田	循環器外来 (第1・第3・第5週)	山田	乳幼児健診・予防接種	山田	アレルギー外来 (山田)	アレルギー外来 (第4週休診)	山田	アレルギー外来 (第4週休診)	山田	乳幼児健診
犬塚	心身症外来 (第2・第4週)	犬塚	神経外来 (第1週休診)	犬塚	心身症外来	犬塚	神経外来	犬塚	神経外来	犬塚	生活習慣病外来 (隔週)
泌尿器科	新患	徳永	※	南	※	徳永		南	※	徳永	※
再診	南		徳永		南	南(前立腺)		徳永		南	
眼科			上松(非)								
耳鼻咽喉科	大里	※	大里	※	大里	大里	大里	大里	※	大里	※
*								*			
放射線科	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾
堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉
放射線治療計画					山崎	山崎					
救急総合診療部	内科系	木下・大島・中尾	高原	尾崎	担当医	山道	担当医	赤司	岩永	西野	大島
外科系	担当医										
メモリークリニック(もの忘れ外来)	井手		井手			井手		井手			井手(再)
専門外来	インターフェロン(新患・紹介のみ)	木下 14:00~16:00	ペースメーカー	木下・中尾(功) 第2・第4月曜日14:00~16:00	乳腺	佐々木 第2・第4月曜日14:00~17:00	ストーマ 重政 第2火曜日 14:00~16:00	禁煙 菅村 14:00~17:00	乳腺 碓 14:00~17:00	禁煙 菅村 14:00~17:00	乳腺 碓 14:00~17:00
CAPD 林和 (4週1度・再診) 14:00~15:00	下肢静脈瘤 柴田 14:00~15:00	睡眠 植木 9:40~10:30 (第3)	佐々木 13:30~16:30								
健康増進センター	寺園		寺園		寺園		中尾		寺園・寺田		寺園
板倉		野々下・板倉		山本・寺田		寺園・寺田		松永・葉師寺			
乳がん検診	佐々木		碓		佐々木		碓		武岡		
健診婦人科(特別顧問外来)	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸

※医師の出張等により、休診する場合がございます。受診ご希望の方は予約をお願いいたします。

受付時間 8:30~11:30 / 13:30~16:30

(専門外来・紹介のみ)

診察時間 9:00~12:00 / 14:00~17:00

(専門外来・紹介のみ)

土曜日は、休日診療体制とさせていただきます。

☆:救急部24時間体制 \* :当番医 (非):非常勤 (再):再診  
※:主に手術・検査の予定ですが、予定が無い場合は診察いたしますのでご確認ください。

すべての診療科において時間帯予約制をとっております。受診を希望される場合は、コールセンターへ事前にご連絡いただき予約をお取り下さい。

受付時間 月~金曜日 8:30~17:30

予約専用電話番号 0800-7000-888 (通話料無料)

医療機関からの紹介状をお持ちの方は TEL/FAX 0120-33-8293 地域医療連携センターまでお願い致します。(土曜日の8:30~12:30も受付けております)